

FUN kitchen

連絡先：FUN kitchen 代表：村上

fun_funkitchen@yahoo.co.jp 090-9555-9972

<活動の様子>



事業名 FUN kitchen えいごキッチン

<目的>

子育て中の親子が、食を囲み楽しい時間が過ごせるように、簡単な調理実習を行います。

<事業内容>

英語での調理を行います。愛媛大学の留学生を派遣いただき、調理だけでなく、ゲーム・工作・歌など、英語が学ぶものでなく、“楽しむコミュニケーションの道具”であることを伝えていきます。

簡単な今日のフレーズを設定し、何度もリピート。おうちでもフレーズがポロっと出てくるようです。

調理は、季節に合わせたもの・小さなお子様にも簡単にできるもの。

初めての包丁にもチャレンジ！ ママにもリラックスタイムを。おうちカフェなランチも作って一緒にいただきます。

<市民の参画や他団体との連携>

愛媛大学の留学生を派遣いただき、外国語を学ぶだけでなく、文化などのお話も伺います。また、キラキラママになるために、というプロのマナー講師をお招きしてすぐに役立つマナー講座、お彼岸前にはあぼとつくる手作りおはぎ講座などの異世代との交流も図っています。

<市民に対するPR>

「ちょっとお食事でも・・・」なんて、恋や友情が深まったりってことありませんか？

食には何かをくっつけるチカラがあるはず。

また、美味しいステキなものを目にすると笑顔が出ちゃいますね。

私たち FUN kitchen は、親子で仲間でワイワイ簡単な調理実習を行います。

調理だけでなく、時には歌やゲーム、ダンスも取り入れながら、笑顔・笑い声いっぱいなFUNなキッチンを目指しています

NPO法人 こころ塾

連絡先：松山市大街道三丁目2番16
TEL089-931-0702

<活動の様子>



うつ病予防啓発セミナー



交流の場



職場復帰支援プログラム



週末イベント



事業名 うつ病予防から復職支援までー地域に根差す総合サポート

<目的>

- ・研修会や相談支援を通して、うつ病の予防、早期発見・治療、誤解と偏見の軽減を目指します。
- ・うつ病当事者やその家族の交流の場を提供します。
- ・セミナーや復職支援プログラムを通して、うつ病当事者の再発防止と社会復帰を支援します。
- ・市民と作るイベント活動を通して、元気な松山づくりを目指します。

<事業内容>

- ① **うつ病予防啓発セミナー**：地域住民や企業を対象に、心の健康づくりのセミナーを実施しました。
- ② **心の元気街角相談所**：面談や電話・メールで、うつ病等に関する悩みを聞く相談支援をしました。
- ③ **交流の場**（誰でもホッとステーション・当事者会・家族会）：毎週土曜日にうつ病当事者や家族が交流する場を設けました。また、当事者会と家族会を、それぞれ月1回開催しました。
- ④ **うつ病基礎セミナー**：うつ病や回復への道のり、再発予防の方法などについて学習会をしました。
- ⑤ **職場復帰支援プログラム**：うつ病当事者を対象にリハビリプログラムを実施しました。
- ⑥ **週末イベント**：市民企画によるお笑いライブや小唐人寄席などのイベントを実施しました。

<市民の参画や他団体との連携>

- ・松山市地域包括支援センターや松山市社会福祉協議会と連携し、地域のうつ病予防や早期発見ができる人材育成のために、地域学習会の講師をしました。
- ・まつやま子育てNPO連絡協議会や児童虐待防止ネットワークに所属しています。

<市民に対するPR>

NPO法人こころ塾は、セミナーや相談支援、うつ病当事者と家族の交流の場づくりなどを通して、うつ病予防啓発と松山に暮らす人々の心と体の健康づくり、そして、元気な松山づくりを目指しています！

<活動の様子>

DVD制作「赤ちゃんの泣き声とコミュニケーション講座」

【パンフレットのの一部】



事業名 子ども虐待予防の啓発事業および予防教育の教材開発事業



<事業内容>

1. 「オレンジリボン啓発キャンペーン」(11月)
 - 1) オレンジリボンキャンペーン映画上映会「葦牙」(虐待を受けた子どもの回復をたどるドキュメンタリー映画) 会場にて啓発資料配布
 - 2) NPO 法人ワークライフラボ主催の勉強会時に乳幼児期の保護者を対象にテーマ「しつけと虐待はどう違うの?」講座&啓発資料配布
 - 3) 愛媛県社会福祉士会と共催で県内の子育て支援に関わる専門職の継続研修時に県内の各分野の子育て支援者に啓発資料配布
2. 虐待防止のための定期的、継続的な情報発信を目的とした子育て支援情報を発信するホームページの作成
ホームページ <http://ehime-absue.main.jp/>
3. 乳幼児時期の子育てストレスによって発生する虐待予防に関する教材制作とモデル講座
福祉・医療・心理・保健・学校教育・社会教育等の従事者と20代・30代の保護者・未保護者による教材検討委員会を開催した。各立場の意見とアイデアを終結し各地域で行われる子育て支援講座の台本・視覚教材(DVD)を監修した。

【DVDの内容】

- ①妊娠中の母親の心身の変化への理解を深め、その時の母親本人へのケア、夫のサポート、
- ②赤ちゃんの泣きの意味を理解し、上手に関わる方法、
- ③妊娠中・産後のうつ症状、子育てがしんどい時の対応例

大学生や生後4カ月までの子育て中の保護者(NPO法人ラ・ファミリエ主催)を対象にした子育て教室でモデル講座実施

<市民の参画や他団体との連携>

チャオネットは、県内の福祉・医療・心理・教育・保健・司法などの専門職、民生児童委員やNPOなど地域の子育て支援者、子育て中の親が一緒になって、所属や領域を超えた子ども虐待の予防を目的とした活動を実施しています。子育て体験が幸せな人生の体験になるよう、子育て体験講座、子育てサポーターのスキルアップ講座、関係機関への講師派遣、子育てニーズの調査・研究を実施しています。

<市民に対するPR>

今後は、妊娠期・産後期の母親へのケア、乳幼児期のお世話力を高めるためのプログラムの開発、虐待関係にならない子育ての方法について、学齢期・思春期の子どもへの関わりかたについて体験的に学び合える講座を実施していきます。



<活動の様子>



児童館での
育児支援レッスン



パパと一緒に！
ベビマ&
ベビーサイン



季節のイベント★
親子で参加できる
クリスマス会



子ども食育講座
お料理体験しながら
食の大切さを学
びます♪

事業名 子育て支援事業及び母親の社会参画支援事業

<目的>

- 母親の育児に対する不安や不満を解消し、自らが育児を楽しめるための情報を提供する。
- 親子で参加でき、親子で楽しみ絆を深めることのできる場所を提供する。
- 育児をしながらでも、自己実現のための社会活動に参加できる場所を提供する。

<活動内容>

- *親子の絆を深めるための子育て支援関連レッスンの企画・開催
- *花育や食育など、子供の感性を伸ばすために有効的かつ親子で楽しめるレッスンの企画・開催
- *親子で楽しめる季節ごとのイベント（クリスマス会、ハロウィンパーティなど）の企画・開催
- *母親の特技を生かすための場所提供及び開催サポート
- *母親自身の生活を心身ともに向上促進するためのセミナー企画開催
- *消費者として母親からの声を企業店舗に還元し、母親の社会参画促進

<他団体との関わり>

- 市民との関わり
団体へはすべての女性の参加が可能。
子育てを応援したいと思うすべての人・企業との関わり
- 地域社会との関わり
児童館、地域子育て支援センターでの、子育て支援関連レッスンを開催することで行政との連携をはかる。
企業のCSR活動のひとつとしての「子育て支援関連事業」に間接的に関わることで企業との連携をはかる。
カフェやレストランなどでのイベント・レッスン開催により、店舗との連携をはかる。
地域産業を発信していく場所での母親ネットワークの活用により、地域産業界との連携をはかる。
- 他団体との関わり
異業種ながら、目指す目的が同じ他団体とのコラボイベントを開催することにより、母親層以外との関わりー消費者としての「母親のコミュニティ」との連携を求める他団体との関わり

<市民へのPR>

母親たちがもっと楽しく、もっと自分らしく「子育てを楽しむことができるための場所作り」を目指しています。また、この活動に参加してくださるお母様たちはもちろん、子育てを支援してくださる企業・団体様との連携も大切にしながら、「顔の見えるつながりある母親のコミュニティ団体」として、地域社会との協働を目指します。

<活動の様子>

1



2



3



4



事業名 とりもどそう！“まつやまのこども力” 推進事業

1) アフタースクール支援事業 (写真①・②)

放課後子ども教室用の指導メニュー開発や担当指導員の育成に取り組んでいます。

2) 環境教育推進事業 (写真③・④)

四国の文化財産である“お遍路”を舞台に、地元で生まれた環境教材を使用したイベントを開催しました。

<目的>

1) 安心・安全・安価なアフタースクール運営の拡大を目指しています。

2) 小学生年齢時から少しでも“環境”に興味を持ってもらえるような活動を展開しています。

<事業内容>

1) 放課後子ども教室用の指導メニュー開発や担当員の育成を愛媛大学教育学部の皆さんの協力を得て活動しています。

2) 地元で開発された環境教材である「ハイブリッドカー模型キット」と「お遍路万歩計」を導入し楽しく環境学習に取り組めるよう工夫した活動を展開しています。

<市民の参画や他団体との連携>

1) 市内の放課後子ども教室運営担当者の方々や実施校区の保護者の方々からのヒアリングを行いご要望を出来るだけ取り入れたメニュー・システムの開発を心掛けています。

2) 今回はお遍路のうち、石手寺⇒繁多寺⇒浄土寺、浄瑠璃寺⇒八坂寺⇒西林寺という2つのルートを準備し、各ルートの清掃活動も同時に実施しました。

<市民に対するPR>

K・I・D・S えひめは、K「子どもたち」のI「居場所創り」や「Dream(夢)」の実現を「Support」しますという想いに基いて活動しています。是非、皆様のご意見やご要望をお聞かせください。